

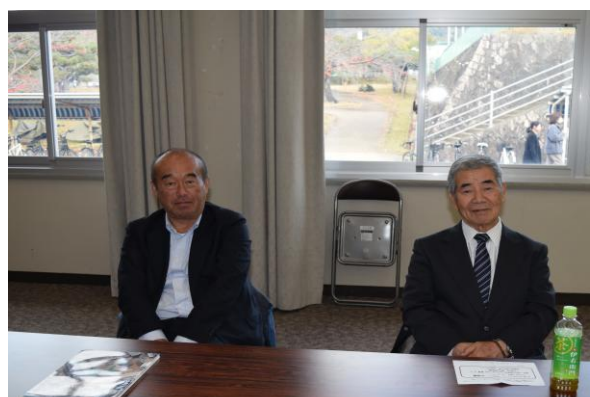
まほろば 徳・得 講座 【写真とアンケート】

第(二)講 2024年(令和6年度)12月4日(水)13:30~15:00

「大阪は歴史の宝庫」—勤務地の歴史を調べる面白さ—木村鑑廣先生^{あきひろ}

今回は、学生さんが自己紹介をしてから、講義が始まりました。木村鑑廣先生^{あきひろ}の楽しい説明で、講座後の質問も活発に出て、大変楽しい講座となりました。

*画像掲載については、承諾を頂いております。



○4回生

ご講座の中で歴史を学ぶことの意義について考えていたのですが、その場所に生きた人、その場所にあった文化、出来事に思いをめぐらせることが、自分が生きる場所への愛着につながるのではないかと考えました。自分の分野外の学びも大切にして、生活との両立を頑張っていきたいです。

○3回生

大阪に住んでいても知らなかったことを知る貴重な機会となりました。特に、その土地の歴史を知るということは地元に対する愛着を持てることにもつながるのだと感じます。教師自身が知っておくだけでなく、子供たち自身でも調べて知ってもらう活動を授業において教科横断的に行えるようにしたいと思いました。本日は本当にありがとうございました。

○3回生

今回の講座で勤務地の歴史を知らないまま授業をすることはよくないということに共感した。私は大学の授業の一環で文学的な側面から地元の歴史を調べたことがある。調べると小学校の地域学習で勉強しなかったことまで知ることができた。勤務地の歴史とは外れるが、地元の歴史でさえよく知らないことをよく実感した。私は将来、中学校の国語教師を目指しており、文学的な側面で勤務地へとつなげることができる。生徒が授業内容を“自分事”として捉えるためにも貴重な実体験の話だと思った。本日はありがとうございました。

○3回生

私はこの講座を受講して、改めて地元の歴史を知り教えていくことが大切だと感じた。特に私が勤務したい場所として考えている奈良県は歴史深い土地柄でもある上に、担当教科も社会であることからなおさら必要だと考えているので、空き時間を使って地元史書を

読んだり、歴史館を訪れたり、また近頃はインターネットでも多くの情報を集めることができる時間があるので、偽情報だけには気をつけながら自分自身の知識を増やしていこうと考えた。

○3回生

大阪の暮らしの歴史を学べてとてもおもしろかったです。冒頭でもおっしゃっていたように地域学習で教員が何も知らないのはよくないというのはとても共感しました。私は奈良県で勤務する予定ですがまだまだ知らないところがたくさんあります。勤務先の歴史を自ら調べて、意外な地域の繋がりや、施設の意外な役割を学ぶ楽しさを子どもたちに伝えられるようにしていきたいです。お忙しい中ありがとうございました。

○3回生

これまでの大学の学びにおいて、教師になると総合的な学習の時間などで地域学習が行われており、実際に自分が教師になったときにも実践したいと考えていました。しかし、教員として赴任する学校は、自分とは縁もゆかりもない場所だということもあり、子供たちに地域について教えるにあたって、教師がその地域の歴史について理解しておくことの大切さに気付くことができました。私は大阪出身ということもあり、大阪の歴史についてたくさん知ることができ、歴史の中でも様々な繋がりがあることにも気付くことができたことで、歴史の奥深さと面白さに気付くことができました。今日の経験をもとに教師になってからも学び続けていきたいと思います。

♡最後は、講師先生の「教員になって、良かった」という結びで終わりました。学生の皆さんが、良い先生になってくだされば・・・というのが同窓会竹柏会からの応援メッセージです。

「まほろば徳・得講座」へのご参加にお礼を申し上げます。 奈教大同窓会竹柏会一同